

あきつ



No.34 1月 25日

校長 梅田 博子

Kumamoto Education Week 2023.1.21-29 ーみんなの夢が未来を創るー

大森賢治さんのオープニングトーク「ロックミュージシャンだった物理学者」を聞きました。司会の方とやりとりしながら、とてもラフな感じで、ご自分の小学生時代、中学、高校、大学生時代のことを話されました。大森さんが話されたことをまとめると「自分がやりたいことをやる。自分のやりたいことだったら、**すごく頑張れる。**」「毎日の生活や勉強の中で自然とやりたいことに出会うこともあれば、やりたいことが変わることもある。**やりたいことに出会えば、自ずとそのことを探求したくなるし、自分の中から湧き上がってくるからそのことに打ち込める。**先生や大人から勉強しなさいと言われなくても自分から探求(勉強)する。」というようなことをおっしゃいました。

大森さん自身が最初はクラシック音楽、バイオリンにのめり込み、その後ロックやバンドに夢中になったそうです。大学生の時にはライブハウスに出たり、オリジナルの曲を作ったりしてプロになることも考えていたのですが、学費を出してくれている親の手前けじめをつけ、大学を卒業するために一度大学に戻ったところで、研究が面白くなり、研究内容の多様性や可能性に気づき、研究に打ち込んでいったという話をされました。ご自分でも「何がきっかけになるかはわかりませんね。成り行きで今は物理学者です。」とおっしゃっていました。自分がやりたいことに出会って、それに打ち込むことができるって幸せです。

研究されている内容についても少し話されましたがとても難しくて…。熊本市内出身であり、学生時代の話は共感するところが多くて(私の方がちょっと年下ですけど!)面白かったです。後日アーカイブ動画で配信される予定ですので、ご覧になれなかった方は、是非ご覧ください。



描こうボクらの虹色ー子ども基本法スタート！ー

子どもたちの「今」を大切にー子ども基本法と子ども家庭庁設置を機に考えるー 前半には秋津小学校の6年生が実践校として登場しました。プレゼンや動画を使った発表も大変素晴らしかったです。会議の中で、堂々と自分の意見を述べる姿にも感心しました。自分の権利を知るからこそ、どのように権利を使っていくのかを考えたり、権利によって自分が守られていることのありがたさも感じたりして素晴らしかったです。



ヒロコの知らない音楽の世界ーリコーダーと和太鼓ー

今週校内を回っていると、校舎のあちらこちらで、3年生の子どもたちが4、5人集まってリコーダーを吹いていました。一人一人がリコーダーの3音(ラとドとレ)を使って作曲した楽譜を班でつなぎ合わせて演奏しています。曲がつながると和太鼓に合わせて演奏していました。太鼓と笛の音色がテーマの「おはやし」にぴったりで、中には「そーれ！」と掛け声をかけている班もありました。この後、できた曲の発表会があるのだそうです。楽しみです！



【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、楽しい学校
自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進
～考える子・チャレンジする子・伝え合う子～



ホームページ
QRコード



1月の生活目標 **生活のリズムを整えて、健康に過ごそう**
～睡眠は元気の源！生活のリズムを取り戻そう！～

あかるいあいさつ！
きれいな学校
つながるこころ！